

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	2	◆パーテーション等を使用して、環境を整えた個別エリアを設定している。 ◆拓心館の玄関ホール等共有スペースの活用して活動の幅を広げようとしている。 ◆送迎時や面談時に保護者様に活動環境を知ってもらう機会を設ける。
	② 職員の配置数は適切であるか	—	4	1	◆他事業所から応援体制を取り、必要な人員配置を随時行っている。 ◆1対1での支援が必要な利用者様がいる場合は、全体のプログラムを工夫し、残りの支援員で対応可能な活動を設定していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	—	—	—
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	4	—	1	◆業務の引継ぎを毎朝行っており、前日の振り返りを行いながら改善に努めている。 ◆毎月の個別支援会議においてもPDCAサイクルで振り返りを行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	—	◆毎年事業所向け自己評価表と保護者アンケートして、意向の把握や改善に努めている。 ◆モニタリングの面談時に、利用に関するご意向を伺っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	—	5	◆法人HPIにて公開予定。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	—	—	◆平成27、28年度に第三者評価を受けた他、毎年青森県による指導監査を実施し、改善に努めている
	⑧ 職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	—	—	—
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの計画を作成しているか	3	2	—	◆独自アセスメントシートの作成や適応行動尺度(Vineland)を活用していく。 ◆アセスメントの手法を学ぶための研修に参加し知識を身に付ける。
適切な支援の	⑩ 子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	◆適応行動尺度(Vineland)に関する研修への参加や実際に実施するなど、その活用に努めている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	—	—	◆スタッフ間で相談しながら共有して立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	—	◆利用者様の個別の課題やその時の人数に応じて工夫している。 ◆利用者様の希望を聞いて設定している(長期休みなど)
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	—	—	◆目的を決め、計画を立てて支援している。 ◆滞在時間やメンバーを加味して活動を設定している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	—	—	◆グループ活動と個別活動を必ず設定している。

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	—	◆毎日引継ぎで内容や役割を確認している。 ◆以前は全員で引継ぎできないこともあったが、平成30年4月以降は確実に毎日全員で引継ぎ等を実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	—	4	1	◆業務の引継ぎを毎朝行っており、前日の振り返りを行いながら共有している。
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	—	◆毎日業務日誌に記録し、検討事案では次の対応策まで話し合う様になっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	—	◆半年ごとにモニタリングを行っており、保護者面談も確実にやっていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	3	—	◆個別支援会議等の際にガイドラインを見返すこととし、支援に反映させる。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	2	3	—	◆担当者を含め、複数で参加するように努めている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時間の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2	—	◆行事や下校時間、送迎については、主に保護者と連絡調整している。 ◆柔軟に迅速に対応するようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	5	◆受入れに向けて研修に参加している。 ◆人材確保(看護師等)に努める。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	—	—	◆必要に応じて、随時情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	1	◆今までそういった事例はないが、今後必要に応じて適切に対応していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	—	—	◆同事業所の児童発達支援センターはあとに随時相談している。 ◆発達障害者支援センター企画の研修に毎年参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	—	1	4	◆そういった機会は設けていないが、行事で外出した際等に、一般の方と関わる場面があり、振る舞いやマナー等の関わりを体験している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	—	—	5	◆平成30年4月以降、弘前市自立支援協議会子ども専門部会の情報交換会に2回参加し、現状や課題を情報共有している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	3	—	◆毎日連絡帳にその日の様子を記載して伝えている。 ◆送迎時にその日の様子を伝えるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	—	5	◆支援スタッフがペアレント・プログラム(全6回)を受講した。 ◆保護者から相談があった際は、随時相談支援を行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	5	—	—	◆契約時やモニタリングの面談時に行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3	—	◆保護者から相談があった際は、随時相談支援を行っている。 ◆送迎時やモニタリングの面談時に、そういった話を向けている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	—	—	5	◆保護者会は開催していない。 ◆行事等に保護者も参加できるよう計画していく(夏祭り等)。
	③⑬	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	—	—	◆管理者に報告・相談の上、迅速、適切に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	—	◆広報誌『はあと通信』発行に努める。
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	—	—	—
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意志疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	—	—	—
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業運営を図っているか	—	—	5	◆平成30年度から拓心館グループとして夏祭りを開催し、地域の方にご参加いただいた。今後、夏祭りを定例化する予定。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2	—	◆毎月避難訓練を行っている。さまざまな場面(不審者)を想定した訓練を実施予定。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	—	—	◆毎月1回避難訓練を実施している。
	④⑰	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	—	—	◆毎月1回虐待防止委員会を実施し、チェックリストをつけている。 ◆内部、外部研修に出席している。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—	5	◆身体拘束に関する事案はない。様々な場面を想定し、万が一に備えて保護者とのやり取り等を記録するよう心掛ける。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	—	—	◆契約時にアレルギーについて確認している。 ◆適切に対応している。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	—	—	◆ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して共有・改善している。